



防衛医科大学校

National Defense Medical College

医学教育部
医学科学生
受験案内

平和に貢献する「医療」を学ぶ。



防衛省・自衛隊



第11代
防衛医科大学校長

四ノ宮 成祥

防衛医科大学校は、医師である幹部自衛官となるべき者を養成し、かつ、自衛隊医官に対して自衛隊の任務遂行に必要な医学についての高度な理論、応用についての知識と、これらに対する研究能力を習得させるほか、実際の診断、治療にかかわる臨床教育及び研究を行うことを目的として、防衛省に設置された組織です。

本校は昭和48年に開設されて以降、これまでに卒業した医学科卒業生は2,735名（令和2年3月卒業の第41期生まで）に達しており、全国で活躍しています。医学科学生は、一般の医科大学と同様の医学教育に加えて、将来幹部自衛官となるために必要な基礎的教育訓練を受け、本校独自の防衛医学も学びます。大学院の博士課程に相当する医学研究科も設置されており、令和2年2月現在で514名が大学改革支援・学位授与機構から博士（医学）の学位を授与されています。また、防衛医学の最先端を探る総合研究機関として、平成8年に防衛医学研究センターを設立し、自衛隊医療に即した質の高い基礎的研究を行っています。

近年、国際平和協力活動や災害派遣を含む各種事態への対応など自衛隊の任務の増大にともない、医官の活動もますます多様化かつ広域化してきています。すなわち、自衛隊衛生を担う本校の卒業生は、自衛隊の各組織に赴任して医療・衛生活動に従事するとともに、その活躍の場が、我が国のみならず、広く国際的な舞台に向けられ、多くの期待が寄せられています。

本校では、プライマリーケアにおける総合的な初期診断・治療ができる能力と、これらを基盤とした専門臨床科能力を有する医官の養成を目指しています。

防衛省・自衛隊に関心があり、国際的にも期待される自衛隊医官の活動を情熱と誇りを持って行いたいとお考えの受験生の皆さんをお待ちしています。



入校者受入れ方針 (アドミッション・ポリシー)

防衛医科大学校（医学教育部医学科）は、医師である幹部自衛官となるべき者の教育訓練をつかさどる防衛省の教育機関として、以下のような人材を求めます。

1. 本校の設立目的を十分に理解し、自衛隊医官として我が国の平和と安全、国民の生命と幸せな暮らしを守るという志をもち、高い倫理観と健康な身体を有する人
2. 規律ある団体生活を通してコミュニケーション能力と協調性を高め、将来、医療や医学研究の分野において指導的役割を担うために、他者を尊重しつつ自らの行動を律することができる人
3. 幅広い国際的な視野をもち、国内外において要請される多様な活動を遂行するために必要な、医学・医療に関する専門的知識・技能を主体的、積極的に獲得しようとする人

平和を叶え、生命を守る。
ここでしか実現できない医療を学ぶ。



医学を通じて国を守ることに貢献する

将来は総合臨床医として活躍できる自衛官となり、国を守り平和に貢献するため、医師と自衛官という2つの側面から日本を支える人材を養成します。また、自衛官として勤務するだけでなく、一生を通じて医師として世の中に貢献することも可能です。



幅広い活躍フィールド

卒業後の活躍の場は多岐にわたり、自分の可能性を大きく広げることができます。例えば自衛隊病院勤務以外にも国際緊急援助活動や部隊勤務といった幅広いフィールドが用意されています。自衛隊の任務が国防に加えて災害派遣、国際平和協力活動、テロ対策に及ぶにつれ、自衛隊衛生と医官に求められる能力には、さらに期待が高まっています。



医学を学ぶための充実した環境

学生の身分は、防衛省職員（特別職国家公務員）であり被服、食事等は、支給又は貸与されます。在校中は、毎月所定の学生手当が支給されるほか、年2回の期末手当が支給され、入校の際の入学金及び授業料等は徴収しません。また、本人の医療費は、防衛省の病院等で受診した場合はすべて国が負担します。その他、防衛省共済組合員たる学生は、様々な福利厚生を利用することができます。



病院勤務

急速に進歩・発展する医学・医療の水準に対応するため、最新の医学を踏まえた高度な研究能力及び指導能力を有する医官を育成する環境があります。ここでは、高度な医療環境を提供し、次代の医官としての成長をサポートする環境でより自分の能力と個性を伸ばすことができます。



部隊勤務

部隊では、医務室における医療の提供はもちろん傷病者の治療・後送、各種健康診断の実施、隊員への衛生教育、関係部外機関との協同訓練等各自衛隊の衛生部門のリーダーとして幅広く活躍しています。



災害派遣における医療活動

わが国は、その地形、地質、気象等の条件から自然災害が発生しやすく、国民の安全を確保するためには各種事態に備えることが重要です。大規模な自然災害や原子力災害等に際して、国内のどの地域においても災害派遣ができる態勢を保持することが求められ、各種の災害派遣の場面において、医官が果たす役割も非常に重要なものとなっています。



国際緊急援助活動での医療

今日の国際社会は、国際テロ、複雑で多様な地域紛争といった地球規模の問題に直面しています。このような問題解決のため、国際社会が一致団結して取り組む国際平和のための活動に、医療を通じて貢献していく必要があります。今後は、自衛隊衛生部門や医官の役割がますます重要になります。



卒業後には学位の授与

医学科及び医学研究科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学位規則に規定する大学の学部及び大学院の博士課程に相当する教育を行う課程として認定されています。本校の医学科を卒業した者には学士が、また医学研究科を修了した者には博士の学位が、それぞれ大学改革支援・学位授与機構が行う審査に合格すると授与されます。



恵まれた学生舎

学生舎は、机、本棚、電気スタンド等、日常生活に必要なものが備えられており、勉学に専念できるようになっています。また、毎日の食事は専門の栄養士によって栄養管理が行われ、そのメニューはバラエティに富み、勉強や学友会活動で疲れた一日に、楽しい食事となるよう工夫がされています。



教育課程 Curriculum

知識と誇り、鍛えるのは医官としてふさわしい人間力

教育について

●医学の基本的な教養を身につける

防衛医科大学校は、学校教育法に基づき医学教育を行う大学の設置基準に準拠した教育を実施しています。また、その教育目標は、自衛隊医官の特性を基調とした人格、識見とともに優れた有能な総合臨床医の養成を目標としています。

また、本校のカリキュラムは、1年次から2年次にわたる進学課程、1年次後半から6年次までの専門課程、1年次から6年次までの訓練課程により構成されています。卒業後の教育についても、初任実務研修や専門研修、医学研究科における教育等、医官としてより高度な研さんを積む機会が充実しています。



カリキュラムの流れ

防衛医科大学校(6年間)

●優秀な人材を養成する構成

総合臨床医として活躍できる自衛隊医官を育てる段階的なカリキュラムを実施しています。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	医師 国家試験	卒 業
進学課程		専門課程			臨床実習 (病院実習)		
訓練課程							

●進学課程・専門課程の授業科目及び修得単位数

進学課程

授業科目			開設 単位数	卒業に 必要な 修得 単位数
一般 教養 科目	行動科学系	倫理学	1	必修
		心理学	1	
		哲学	1	
		社会学	1	
		法学	1	
		コミュニケーション技法	1	
	人文系	史学	1	6
		国語・国文学	2	
	社会学	政治学	1	
		経済学	1	
		人文地理	1	
	総合	教養講座	1	
		数理倫理学	1	
		情報技術	1	
		医学導入教育	1	必修
外国語科目	英語	英語	5	必修
		英会話	2	2
		独語	2	
		仏語	2	
		中国語	2	
保健体育科目	体育倫理	体育倫理	1	必修
		体育実技	2	
基礎教育科目	数学	数学	1	必修
		物理学	3	
		化学	3	
		生物学	3	

専門課程

授業科目		開設 単位数	卒業に 必要な 修得 単位数
専門教育	社会医学系	6	必修
	形態医学系	12	
	血液・造血器・リンパ系	3	
	神経系	6	
	感覚器系	5	
	運動器系	3	
	循環器系	4	
	呼吸器系	3	
	消化器系	7	
	腎・尿路系	3	
	精神系	2	
	生殖機能系	3	
	内分泌・代謝・成長発育系	3	
	感染症系	5	
	免疫・アレルギー・膠原病系	4	
	救急・総合医学系	9	
	機能医学系	17	
	防衛医学系	4	
	基本的診療技能実習	2	
	内科系臨床実習	38	
	外科系臨床実習	34	

(参考 令和2年度)

進学課程

基礎を学ぶことで医学へのマインドを育む

進学課程の教育は、高い知性と倫理観を備えた高潔な人格及び豊かな教養を身につけた人間味あふれる医師の育成に重点を置いています。科目は、一般教育科目(人文系・社会系・総合系)、外国語科目、保健体育科目、基礎教育科目です。



病院実習

4年次後半から6年次までの間、「内科系臨床実習」及び「外科系臨床実習」として病院における臨床実習を中心に臨床教育が行われます。この臨床実習では、より実践的な教育を行うため、臨床前準備教育として「基本的診療技能実習」が行われます。

実習は約66週間にわたり行われ、臨床教育の充実を図っています。病棟実習、外来実習、手術見学、検査実習、救急処置及び剖検見学等を有機的に組み合わせ、総合臨床医として必要な知識、技能を効果的に習得できるような教育に配慮しています。



専門課程

臨床力を養う実践的な学習の数々

専門課程は、21の臓器別等の授業科目で構成され、基礎医学(解剖学、生理学、薬理学、病理学等)と臨床医学(内科学、外科学、小児科学、精神科学等)を有機的に統合させた形の講義、病院実習等を行います。その講義や実習を通じて、医師として必要な専門知識や診断法等を効率よく習得できるよう配慮しています。



在校生の声

先輩が近くにいる プラス面を実感

2年
及川 隆



人とコミュニケーションをとるのが苦手だった私は、年上の先輩と同室になる寮生活が心配でした。しかし、入室した初日から明るく迎えていただき、今では先輩が入校した頃の体験談を聞いたり、「この試験の時はどんな勉強をしましたか?」と相談したり、自分がこれから進む道の「経験者」である先輩がいつも近くにいることが、自分にとってプラスになっていることを実感しています。集団生活が不安な人も安心して入校してください。先輩や仲間と自然に交流できる環境が整っています。

一緒にがんばれる 仲間の大きな存在

2年
宮田 玲奈



初めての寮生活、自衛官としての訓練…。入校前は、やっていけるのだろうか?と不安を感じていました。しかし、そんな不安を一気に払拭してくれたのは、同期の仲間たちです。相談したり励まし合いながら寝食を共にする生活の中で、仲間との間に「一緒ならどんなことも乗り越えられる。」と思える心強い絆が生まれました。これは、全寮制の防衛医科大学だからこそ得られた貴重な宝物。これからもこの絆を大切にしながら、患者さんに寄り添える医師を目指したいと思います。

※学年は取材時のものです。

価値

教育課程

生活

進路

環境

Q & A

案内

教育課程

Curriculum

訓練課程

幹部自衛官としての自覚を促す

訓練課程は、幹部自衛官として必要な基礎的資質及び技能を育成することを目的として、訓育、基本教練及び部隊実習を本校及び陸上・海上・航空自衛隊の各部隊等において、春、夏、冬に分けて行います。医官は「医師である幹部自衛官」であり、医師であると同時に部下の自衛隊員を指揮・統率しなければなりません。したがって、種々の状況において、精神的・肉体的に負けることなく判断を行い、職務を遂行することが必要です。災害派遣における医療活動や、国際緊急医療援助隊、PKOへの参加等近年、本校の卒業生が活躍する場も増えてきていますが、まさにそういった場面において、医官として訓練された成果が発揮されます。



訓育

必要な基礎的資質及び技能を育成

訓話、解説、ガイダンス等により、社会人としてはもとより、将来医師である幹部自衛官として必要な事項について、各自の理解と自覚を深め、自己陶冶を促進させて伸展性に富んだ人材を育成します。



基本教練

基本教練を通じて規律を学ぶ

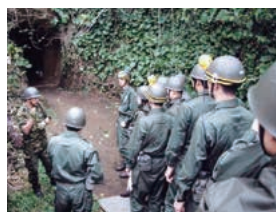
徒歩教練では一人ひとりの動作と小隊長以下の指揮法について修得します。体育一般では自衛隊体操や体力検定種目(3,000m走、懸垂、ソフトボール投げ、走り幅跳び等)を実施します。



部隊実習

学びを実践で生かす

陸上・海上・航空自衛隊の使命、特性、編成・装備、部隊についての概要を修得するため、部隊・病院等で実習を行います。



履修科目について

医官にふさわしい人材を育てるカリキュラム

訓練課程においては、1年次から6年次にわたり、合計507単位を履修します。

学年別履修区分

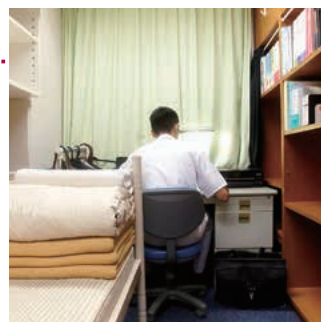
訓練科目 Training		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計 Total
訓育 Discipline		30	24	25	11	10	18	118
基本教練 Basic Training	徒歩教練 Walking Drill	33	4	8	-	-	-	45
	体育一般 Physical Training	19	8	8	4	4	4	47
	水泳 Swimming	24	32	-	-	-	-	56
	スキー Skiing	-	31	-	-	-	-	31
	教育法 Instruction Methods	-	-	16	-	-	-	16
部隊実習 Troop Exercise		26	72	56	24	-	16	194
計(時間) Total (in hours)		132	171	113	39	14	38	507

(参考 令和2年度)

学生舎生活について

集団生活で生まれる結束力が 未来につながる

団体生活の体験を通じて人格を陶冶し、協調性を養うため、全員校内の学生舎で規則正しい生活を送っています。学生によって組織される学生隊は、団体生活を円滑にするとともに自主自律の精神を養うため、指導官の指導のもとで、学生長や週番学生等を中心に、自主的に運営されています。学生隊は、大隊・中隊・小隊で編成され、それぞれ学生長が指揮し、医師である幹部自衛官として必要不可欠なコミュニケーション能力とチームワークを育んでいます。これらは医療活動で求められる隊員同士の情報交換や協力の際に、きわめて役立つことになります。



自習 21時から24時までの間は自習時間が確保されています。



国旗掲揚



平日は午前8時、祝日は午前8時30分に国旗掲揚を行います。

課業行進



朝礼後は、班長の指揮により行進して教場に向かいます。

昼食



全学生が一堂に集まって昼食を取ります。食事は専門の栄養士によって栄養管理されています。

学友会活動



学生が課外や休日に自主的に行う活動であり、現在運動部21部、文化部17部が活動中です。

学友会活動

仲間と感動を分かち合う 学友会活動

心身を鍛錬し、幅広い人間性を養うと同時に、学生同士のより深い親交を図るため、体育系と文化系の学友会があります。夏休みに合宿を行ったり、好成績を残す体育系学友会等、積極的に活動する学友会も少なくありません。またほとんどの学友会活動は、看護学科の部員と合同で練習しています。学友会には部と同好会の二つの組織があり、いずれにおいても学生たちが自主的に運営しており、生き生きと活動しています。なお、学生には原則として学友会への加入が義務付けられています。

体育系

合気道部
空手道部
弓道部
剣道部
硬式庭球部
サッカー部
山岳同好会
自転車部
柔道部
準硬式野球部
水泳部



スキー部
剣道部
バスケットボール部
バドミントン部
バレーボール部
ハンドボール部
ラグビー部
陸上競技部
レスリング部
ソフトボール同好会
チアダンス部



文化系

演劇部
音楽部
合唱部
華道部
弦楽アンサンブル部
茶道部
写真部
書道部
吹奏楽部
ディベート部
美術部



ESS同好会
囲碁・将棋同好会
ダンス同好会

文化他

医用工学研究部
国際医学科生連盟防衛
医科大学校支部
分子医学研究部



医科幹部候補生(陸・海・空曹長)

幹部候補生学校 【6週間】

広い知識と技術を修得する

卒業後は、陸・海・空曹長に任官され、幹部候補生として陸上・海上・航空自衛隊の幹部候補生学校(福岡県久米市、広島県江田島市、奈良県奈良市)に入校し、幹部自衛官として必要な知識及び技術の修得のための教育を受けます。



幹部自衛官

初任実務研修 【2年間】

診療・医療環境を学ぶ

医師国家試験に合格し、かつ幹部候補生学校を卒業した者は、2等陸・海・空尉に昇任します。防衛医科大学校病院及び自衛隊中央病院等において2年間の臨床研修を行い、総合臨床医としての研さんを積んでもらいます。



部隊等に勤務

【約2年間】

現場で医療の技術を培う

初任実務研修が修了すると、自衛隊の病院または部隊、医務室等に医官として勤務することになります。約2年間、部隊等において勤務する間に、初級幹部自衛官としての教育が行われます。



卒業後の勤務地(一例)

北海道地方

- 札幌病院*
- 北部方面衛生隊(真駒内)、第2後方支援連隊衛生隊(旭川)、第5後方支援連隊衛生隊(帯広)、第7後方支援連隊衛生隊(東千歳)、第11後方支援連隊衛生隊(真駒内)
- 千歳、奥尻島分屯基地医務室、襟裳分屯基地医務室

東北地方

- 仙台病院*、大湊病院、三沢病院*
- 東北方面衛生隊(仙台)、第9後方支援連隊衛生隊(古森)、第6後方支援連隊衛生隊(神町)、
- 大湊衛生隊、八戸航空衛生隊
- 三沢、松島

関東地方

- 中央病院*、横須賀病院*
 - 東部方面衛生隊(朝霞)、第12後方支援連隊衛生隊(新町)、第1後方支援連隊衛生隊(練馬)、衛生教導隊、部隊医学実験隊、開発実験団対特殊武器衛生隊、(三宿)
 - 厚木航空衛生隊、下総航空衛生隊、館山航空衛生隊、硫黄島航空衛生隊、横須賀衛生隊、潜水医学実験隊
 - 入間、熊谷、航空医学実験隊(立川・入間)、百里、木更津、目黒、静浜、硫黄島衛生班
- (注)航空医学実験隊(立川)は、2021年度末に入間に移転する計画

中部地方

- 岐阜病院、富士病院*
- 第10後方支援連隊衛生隊(春日井)
- 小松、浜松、小牧、航空機動衛生隊(小牧)

近畿地方

- 舞鶴病院*、阪神病院*
- 中部方面衛生隊(伊丹)、第3後方支援連隊衛生隊(千歳)
- 舞鶴衛生隊、舞鶴航空基地隊
- 奈良

中国地方

- 呉病院
- 第13後方支援連隊衛生隊(海田市)
- 呉衛生隊、岩国航空衛生隊、小月航空衛生隊、第一術科学校
- 美保、見島分屯基地医務室、防府北、防府南

四国地方

- 第14後方支援連隊衛生隊(善通寺)
- 小松島航空基地隊、徳島航空衛生隊

九州・沖縄地方

- 別府病院、福岡病院*、佐世保病院、熊本病院、那覇病院
- 西部方面衛生隊(健軍)、第4後方支援連隊衛生隊(福岡)、第8後方支援連隊衛生隊(北熊本)、第15後方支援連隊衛生隊(那覇)
- 佐世保衛生隊、大村航空衛生隊、鹿屋航空衛生隊、沖縄基地隊、那覇航空基地隊
- 築城、芦屋、春日、新田原、下甕島分屯基地医務室、那覇

- 自衛隊病院(※一般患者診察可能病院)
- 陸上自衛隊(衛生部隊等)
- 海上自衛隊(衛生隊等)
- 航空自衛隊(基地等)



専門研修

【2年間(研修科目によっては最大4年間)】

医学の専門分野の基礎を 広く修得

2年間の部隊勤務後は、自身が選択した専門分野(内科学・外科学等)の研修科目を防衛医科大学校病院等で学びます。研修修了後は、ほとんどの者が専門医の資格を取得しています。



部隊等に勤務

【1年以上】

活躍の場は世界規模

自衛隊の役割・活動の範囲は広がっており、医官に求められる能力、役割はますます重大なものとなっています。本校卒業生の活躍の場は、国内のみならず国際的に広がっています。



医学研究科

【4年間】

進歩・発展する 医学・医療に対応

医学に関する高度の研究能力及び豊かな学識を修得することを目的としています。修了後は大学改革支援・学位授与機構の行う学位論文審査に合格すれば、博士(医学)の学位が授与されます。



部隊勤務

病院勤務

「医師国家試験」受験資格取得

本校の卒業生には、一般医科大学の卒業生と同様に医師国家試験の受験資格が与えられます。試験合格者には医師免許証が交付されます。

自衛隊を退職する場合

やむを得ぬ理由で、卒業後9年未満に自衛隊を離職する場合は、卒業までの経費を償還しなければなりません。償還金の額は隊員としての勤務期間によって決定されます。
(例) 令和2年3月の卒業生の償還最高額4,301万円

卒業生の声

国家公務員の医師という 安定した魅力。

自衛隊中央病院
1等陸尉

富永 健太
(平成22年度卒業)



自衛隊中央病院で内科の診療業務を行っています。職域病院として公衆衛生的観点から自衛官の健康増進に貢献できるとともに、一般の方へ通常の診療も行えるので医師としてのやりがいを感じています。防衛医科大学校では、医学だけでなく、社会で生き抜くためのコツと、最後は自力が大切であることも学びました。将来は海外留学を経験して自分をさらに高めたいと思っています。国家公務員の医師という道は、普通の医師とは違う安定した魅力があります。ぜひ人生の選択肢のひとつとして検討してください。

勉学に集中できる環境で やりたいことを実現。

自衛隊中央病院
1等海尉

三好 優香
(平成21年度卒業)



教科書で学んだことが必ずしも最善策ではないのが医療の現場。だから現在も、患者さんやご家族の希望に沿った医療を提供するために毎日が勉強の日々ですね。また、自衛隊という健康な集団を長期間観察できるのも貴重。将来は、そこから見てきた結果を一般社会に還元できるよう頑張りたいと思っています。防衛医科大学校は、勉学に集中できる環境が整っています。少人数ならではの縦横のつながりや一体感も魅力です。明確な目標を持って取り組めば、自分のやりたいことを実現できる場所ですね。

環境 Facilities

高度な医学が身につく、充実した環境

大学校本部



学校区域

大学校本部
1号館～9号館
図書館
動物実験棟
防衛医学研究センター
臨床講堂

RI棟
学生センター
体育館(講堂)
武道館
弓道場
研修医官棟



正門



西病棟



病院区域

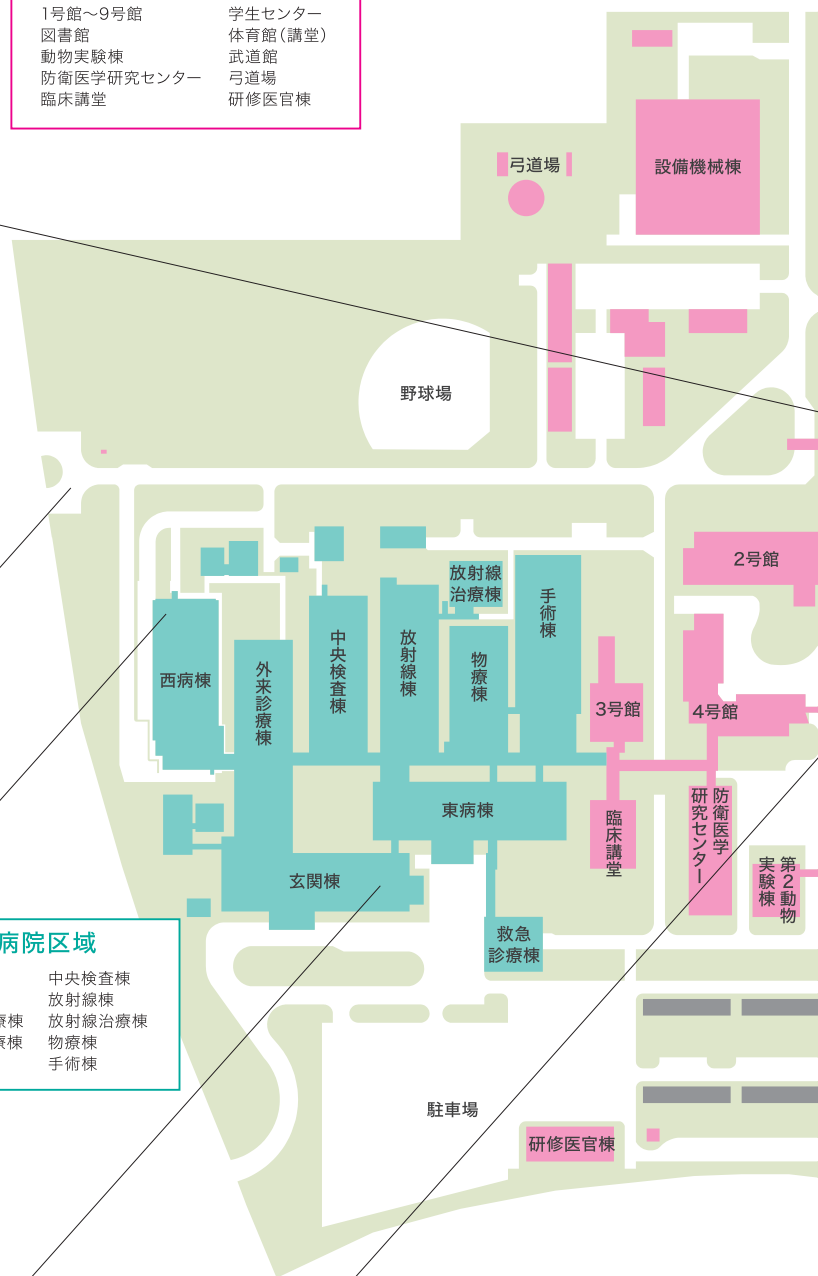
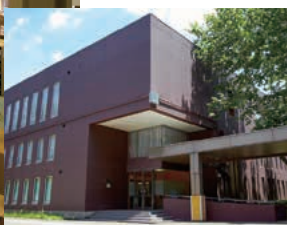
玄関棟
東病棟
救急診療棟
外来診療棟
西病棟

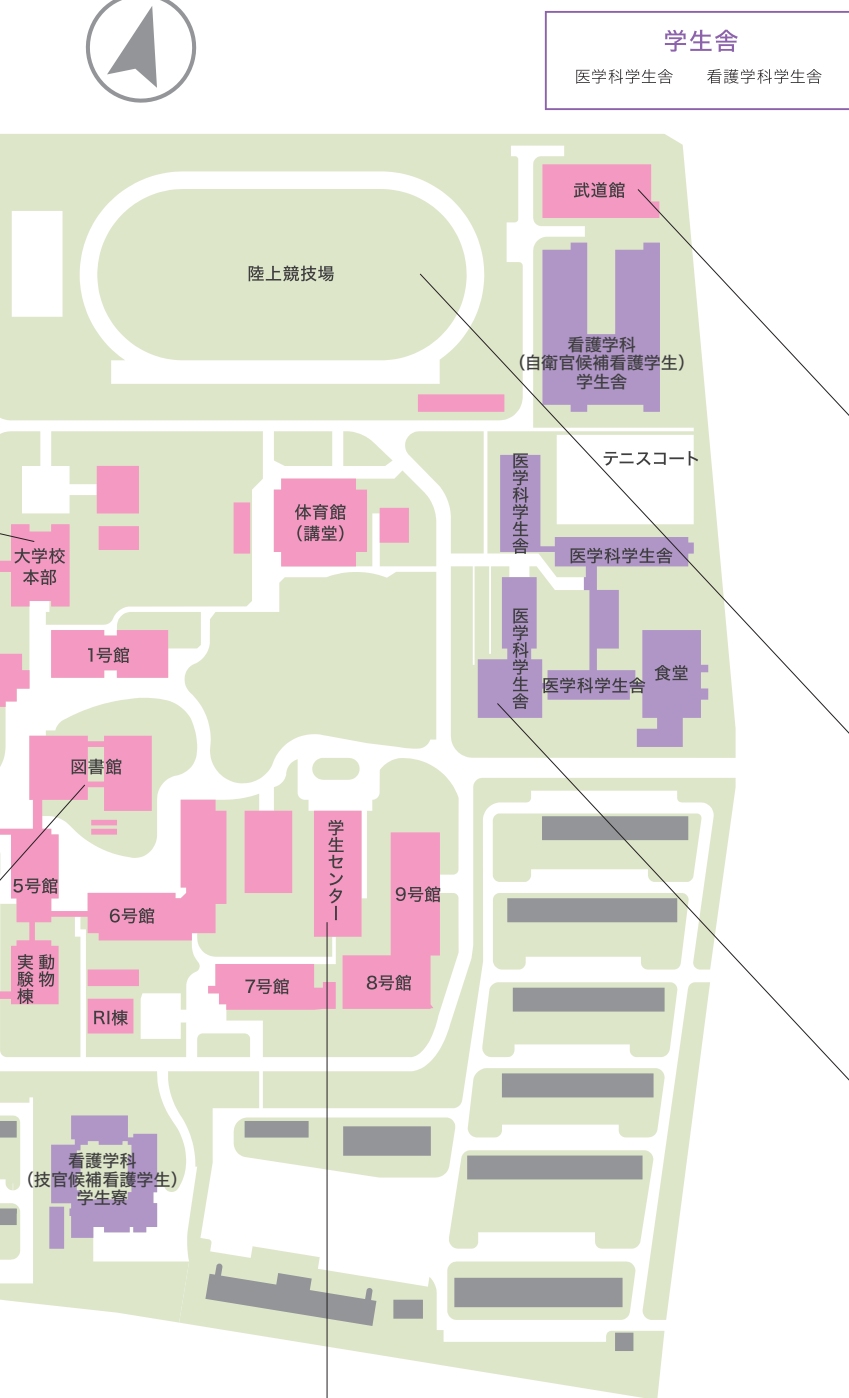
中央検査棟
放射線棟
放射線治療棟
物療棟
手術棟

玄関棟



図書館





陸上競技場



医学科学生舎



学生センター



防衛医科大学校医学科を受験する学生からよく受ける質問をまとめました。

Q 体力に自信がないのですが大丈夫ですか？

A 訓練は基本から始まるので、焦る心配はありません。教官からの指導により、適切な方法で体力をつけることができます。その上で、自主的にトレーニングも行えるので、体力に自信がなくても着実に体力をつけることができます。

Q 授業料はかからないって本当ですか？

A 医学科学生は防衛省職員（特別職国家公務員）であり、学業、訓練に専念することが仕事です。このため入学金や授業料がかからないばかりか、毎月学生手当として給与が支給されます。したがって、自分の都合だけで授業や訓練を休んだりすることはできません。

Q 自宅から通学することはできますか？

A 医学科学生は全員入校と同時に学生舎で生活することが義務付けられ、自宅から通うことはできません。

Q アルバイトはできますか？

A 医学科学生は特別職国家公務員であることから、アルバイトはできません。

Q 私服は着用できますか？

A 普段の生活では、制服又は運動着を着用します。外出時には、私服で外出することができます。ただし、公務による外出については制服になります。

Q 衣食住はどうなっていますか？

A 在学中は、食事・住居等の経費はかかりません。また、制服・作業服等、身の回りの被服類や寝具等も支給又は貸与されます。ただし、部活動等で必要な道具（ユニフォーム等）を自費で購入することはあります。

Q 外出は自由にできますか？

A 土、日、祝日及び休日等の前日は定められた時間の範囲での外出は可能です。平日（月～木）の外出は原則できません。
※ また、病院実習（BSL）が始まると、このとおりにはできないため、8ページに記載の日課は原則1～4年生にのみ適用されます。

Q もしも退職した場合はどうなりますか？

A やむを得ぬ理由で、卒業後9年未満に自衛隊を離職する場合は、卒業までの経費を償還しなければなりません。償還金の額は隊員としての勤務期間によって決定されます。なお、卒業前に退校した場合は、償還金を支払う必要はありません。

（例）令和2年3月の卒業生の償還最高額4,301万円

父兄の声

寮生活で培われた心身のたくましさ

医師となる夢を叶えるため、防衛医科大学校を志望すると決断したのは高校3年の時でした。災害派遣や海外支援等で活躍する自衛隊の方々の思い、心から応援する気持ちになりました。

入校後、寮生活をはじめ、今まで経験したことのない団体生活に順応し、楽しんでいる姿や、高校時

代より精悍な顔立ちに変わりつつある姿をたまの帰宅時に見るにつけ、人間的にも身体的にも成長し、たくましくなった息子を感じます。

防衛医科大学校での貴重な体験をしっかりと自分のものとし、将来は、受診される方の痛みのわかる医官になってほしいと思います。

※学年は取材当時のものです。

1年 池田馨
ご尊父



受験要項

採用種目： 防衛医科大学校医学教育部医学科学生

応募資格： 18歳以上21歳未満の者、高卒者（見込含）又は高専3年次修了者（見込含）

試験種目： 第1次試験：学力試験及び小論文試験
第2次試験：口述試験及び身体検査

※試験に関する詳しいことは、受験要項又は自衛官募集ホームページをご確認ください。

学生の福利厚生及び処遇等

身分： 特別職国家公務員

手当： 学生手当：月額117,000円（令和3年1月1日現在）
※学生手当については、法律の改正により改定されることがあります。

期末手当： 年2回（6月、12月）

福利厚生： 防衛省共済組合施設（宿泊、野球場、テニスコート等）
貯金事業：普通、定額積立、定期貯金
貸付事業：普通、特別、住宅、財形等
物資販売事業：売店

休日・休暇： 週休2日制、年次休暇、その他に特別休暇等

保険： 団体生命保険、団体取扱生命保険、団体傷害保険等

医療施設： 自衛隊病院、部隊、医務室等

その他の処遇： 食事・一部の被服類・寝具については支給又は貸与
防衛医科大学校への入学金・授業料等の納入はありません

アクセス



所在地 〒359-8513 埼玉県所沢市並木3丁目2番地
電話：04-2995-1211（内線2213）
※病院入口から入ることはできません。



交通案内 ■ 池袋駅から西武池袋線所沢駅にて
西武新宿線に乗り換え航空公園駅下車
■ 高田馬場駅から西武新宿線航空公園駅下車
■ 航空公園駅から徒歩：約10分

防衛医科大学校オープンキャンパス

学生舎の見学や卒業生、在校生と直接話したり、模擬講義を受講する機会を設けています。
参加方法や開催日時等、詳しくは右記URLをご覧ください。
※病院から大学校へは通り抜けできません。

<http://www.ndmc.ac.jp/>

携帯電話・スマートフォンで右のQRコードを読み込んでホームページにアクセスしてください。





防衛医科大学校

National Defense Medical College

医学教育部医学科学生受験案内

最新情報はホームページでご確認ください。
また、インターネット応募サイトからも応募できます。

自衛官募集

検索

自衛官募集ホームページ



防衛医科大学校ホームページ



お問い合わせは下記の自衛隊地方協力本部へ